

## 母校にて自衛隊をPR

自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 林1陸尉）は6月22日及び23日、今年度入隊隊員の母校訪問を支援した。

神奈川県立新羽高等学校には大内2等陸士と佐野自衛官候補生（当時）、私立白鵬女子高等学校には渡辺自衛官候補生（当時）が訪問した。

それぞれの学校では、当時の担任の先生や部活の顧問、進路指導の教員と懇談し、教員からは「話し方や姿勢がよくなり、制服が似合っていて凛々しい」や「学生の頃とは見違えた」などの感想があり、隊員からは「部活で指導されたことが自衛隊でも役立つと思います」「自衛官を志す後輩がいるなら、いつでも呼んでほしい」などの声がかれた。

横浜出張所は「今後も本制度を活用して、積極的に母校訪問を支援し、募集環境の拡充と学校の自衛隊に対する理解を深めていきたい」としている。



県立新羽高校 大内2士



白鵬女子 渡辺自候生



県立新羽高校 佐野自候生

## 憧れの空挺隊員への第一歩

自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 林1陸尉）は6月28日、武山駐屯地で行われた令和2年度一般曹候補生前期課程の卒業式において、当出張所から入隊した隊員の激励を行った。

卒業式は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、家族の臨席は叶わなかったが、その様子は公式チャンネル東部方面隊で動画配信された。動画を見た家族から「コロナで帰宅もままならなかったが、音をあげずに頑張った甲斐があった」「卒業前に一時帰宅してきた時には見違えるほど凛々しくなっていた」などの声も出張所に寄せられた。

中でも三善2士は、入隊前から空挺隊員に憧れており父の背中を追って陸上自衛隊へ入隊を決意し、本教育で教育大隊長賞を受賞するなど優秀な成績を修め、その甲斐もあって第1空挺団で後期教育を受けることとなり、念願である空挺隊員への第一歩を踏み出す事となった。

横浜出張所は、「今後も入隊した隊員及びご家族との連絡を密にし、隊員自主募集等につなげていきたい」としている。



三善2士と横浜出張所長